

令和5年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性						
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。						
	令和5年度の実施状況報告						
	05-01 市街地整備の推進						
	・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、都市施設の整備などを進めていることと合わせて、宅地造成等の民間開発を中心とした土地利用動向が堅調であり、成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は高水準で推移しています。 ・子育て世代など多様な世代の居住維持や、移住・定住促進の取組を進めるため、地域おこし協力隊と連携し、相談窓口を設けたほか、オンラインでの移住相談や首都圏での移住相談フェアへの参加、移住パンフレットの更新、移住促進動画の作成、ホームページやSNSによる情報発信などに取り組みしました。						
	05-02 交通環境の充実						
	・生活交通として大きな役割を担う路線バスは、利用者減少や乗務員不足などにより、路線の維持確保が厳しい状況であることから、利用促進を図るため、分かりやすいバス路線マップや路線バス乗り方ガイドの発行、広報周知などを行いました。 ・地域公共交通活性化協議会を通じて、持続可能な公共交通を維持・確保するための地域公共交通計画を策定しました。 ・デマンド型交通について、江北地区及び豊幌地区において、運行事業に係る支援を行いました。						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり(～R2年度まで)、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	81.9	82.0	84.5	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	57.2	59.0	61.6	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数		件	3	48	81	103	↗
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員		千人	548	356	420	466	→

政策 06 子 育 て ・ 教 育	政策展開の方向性						
	子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。						
	令和5年度の実施状況報告						
	06-02 子どもの教育の充実						
	ふるさと納税の寄附金を活用した「ふるさとえべつ教育応援補助金制度」を創設し、市内の各大学が実施する教育環境の充実を図るための事業に対し、補助金を交付しました。						
政策 08 協 働	政策展開の方向性						
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。						
	令和5年度の実施状況報告						
	08-01 協働のまちづくりの推進						
	・市内大学と地域の連携を進めるため、調査研究助成事業や学生地域活動支援事業の成果を広く発信し、制度の活用推進に向けPRを行いました。 ・若い世代の大都市圏流出が課題となっている中、市内4大学に約1万の学生が在籍している地域特性を生かし、学生と地域活動（インターンシップやボランティア活動等）のマッチングを進め、学生の地域定着と大学連携の活性化を図りました。						
	政策の成果指標						
	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
	教育施策に満足している保護者の割合	%	44.6	50.9	47.9	52.5	↗
	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	78.0	83.8	82.8	90.0	↗
企 画 政 策 部 が 所 管 す る 個 別 計 画 ま た は 重 点 事 業 の 進 捗 状 況							
「市内大学教育助成事業」補助申請事業件数		件	0	-	-	4	↗
	政策の成果指標						
	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
		%	23.1	33.0	27.2	30.1	↗
	企 画 政 策 部 が 所 管 す る 個 別 計 画 ま た は 重 点 事 業 の 進 捗 状 況						
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数		件	6	11	9	13	↗

政策 09 計 画	政策展開の方向性						
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。						
	令和5年度の取組状況報告						
	09-01 自主・自立の市政運営の推進						
	・令和5年度で終期を迎えた第6次江別市総合計画の成果をPDCAサイクルを用いて向上させるとともに、その成果を第7次江別市総合計画に引き継いでいくため、まちづくり政策と未来戦略に係る行政評価を行いました。 ・「江別市行政改革大綱」に基づき、行政改革推進委員会の意見を参考に、時代や環境の変化に合わせた行政運営手法の構築に向けた検討を行いました。また、大綱に掲げる基本目標の実現のため、「江別市行政改革推進計画」を推進することで、行革項目の着実な実行を図るとともに、次期大綱及び推進計画の改定に向けた協議を行いました。 ・12市町村から構成される「さっぽろ連携中枢都市圏」において、近隣市町村と圏域の魅力発信等の各種広域連携事業を実施したほか、広域行政のスケールメリットを生かした行政業務の効率化について検討を行いました。						
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進						
	・シティプロモーションでは、Instagramフォトキャンペーンの実施、ふるさと納税の寄附者向けにPR封筒とPRパンフレットを作成したほか、地域おこし協力隊と連携したイベントの実施、江別シティプロモート推進協議会による官民一体の活動やSNSの活用などに引き続き取り組みました。 ・広報広聴活動では、広報誌においてタイムリーな特集記事を掲載するほか、読みやすい誌面となるよう工夫を進めるとともに、読者の感想を募集するなどして、市民が意見を寄せやすい環境づくりに努めたほか、各種SNSを積極的に活用し、市民が行政情報を容易に入手できる環境整備を進めました。						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
	市政運営に満足している市民割合	%	64.7	69.1	64.8	72.2	↗
	行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	78.3	72.4	79.7	↗
	男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	50.4	51.9	57.4	↗
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	—	77.6	71.2	83.9	↗
	「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	93.0	65.6	83.2	84.8	↗
	「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.8	79.9	78.8	81.1	↗

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	①健康増進活動の推進 「生涯活躍のまち整備事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	114,053	256,024	182,996	592,746	197,125
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	114,053	256,024	182,996	592,746	197,125
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	30.00	31.00	31.00	37.00	38.00
	平均単価 (b)	7,687	7,629	7,607	7,604	7,433
	人件費 (a×b)	230,610	236,499	235,817	281,348	282,454
総 額		344,663	492,523	418,813	874,094	479,579